

再エネ等を導入することで災害時に役立った事例 -令和6年四国エリアにおける大規模停電-

- 令和6年11月9日20時22分、電力送配電事業者間の認識の齟齬により、四国4県において最大365,300戸の停電が発生。停電は1時間27分継続し、徳島県藍住町では約17,800戸が停電した。
- 環境省補助事業の支援を受け、庁舎に太陽光発電及び蓄電池を導入した藍住町は、蓄電池からの電源供給を受け、職員が停電対応業務を実施できた。

徳島県藍住町

施設名 : 藍住町合同庁舎
導入設備 : 太陽光発電設備、蓄電池

<災害時の活用状況>

- ・蓄電池に充電した電力を活用し、庁舎内の照明やコンセントの電源を確保し、職員が停電対応を行うことができた。
- ・コンセントからは、業務用パソコンへの接続及び可搬型蓄電池への充電を実施した。



停電時使用可能コンセント



パソコンを使用



可搬型蓄電池へ充電

